

旧ソ連諸国との対応のあり方
(懸案と論点)

H 1 1 . 1 1 . 2 4

渡邊幸治

I 視点

1. 原子力安全

- ・原子力発電所
- ・老朽化原潜
- ・放射性廃棄物

2. 核不拡散

- ・余剰兵器プルトニウムの管理・処分
- ・適切な核物質管理

3. 技術、資源面での協力の可能性

II ロシア

1. 懸念される問題

(1) 余剰兵器プルトニウムの管理・処分

- ・START I の実施等に伴って生じた余剰兵器プルトニウムは軍事再転用が容易であることから、その管理・処分は国際的課題。
- ・各国が余剰兵器プルトニウムの処分につき、燃料として利用する様々なプロジェクトへ協力している。

(2) 原潜解体問題

- ・極東・北極海に退役原子力潜水艦が係留されており、放置すれば周辺環境への汚染の恐れ。ロシアの核兵器の処分の観点からも原潜解体は重要な意義を有する。
- ・我が国の協力

(3) 放射性廃棄物海洋投棄問題

- ・ロシアによる日本海における放射性廃棄物の海洋投棄(93年)
- ・極東における液体放射性廃棄物処理施設
- ・ロシアによるロンドン条約附属書1993年改正の受諾の要請

(4) 円滑な軍民転換の支援

- ・冷戦後、大量破壊兵器に関連する知識、技術を有する科学者、技術者が職を失い、第三国へ流出する危険が増大。
- ・国際科学技術センター(ISTC)を通じた協力

2. 協力が期待される分野

(1) 濃縮ウラン・濃縮サービスのロシアからの提供

(2) 研究開発における協力

- ・高速増殖炉に係る技術的協力

III その他の旧ソ連の諸国

1. 原子力安全支援

(1) チェルノブイリ原発

- ・チェルノブイリ3号炉の閉鎖に係るG7とウクライナの覚書
- ・チェルノブイリ4号炉石棺計画

(2) その他

2. 非核化支援

(1) ウクライナ

(2) カザフスタン

(3) ベラルーシ